

- 1 派遣期日 令和5年11月1日（水）
- 2 派遣先 学校名（会場名）東京都 目黒区立中目黒小学校
所在地 東京都目黒区中目黒 3-13-32
<https://www.meguro.ed.jp/menkmgeh/>

3 研修内容

研究発表会の研究主題「40分午前5時間制の特色を生かしたカリキュラム・マネジメント～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～」

中目黒小学校は平成14年度から40分授業午前5校時制を導入して21年目を迎え、令和元年度から文部科学省の研究開発学校、令和4年度から目黒区教育開発指定校に指定されている。

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るための研究方策として、「40分授業デザイン」、「マイプラン学習」、「マイタイムの時間」、「チームOJT」の4つを柱としている。

「40分授業デザイン」…従来の45分（小学校）の授業時間を5分短縮することから、カリキュラムデザインが重要となる。その単元で働かせる見方・考え方を整理するとともに、育成したい資質・能力を明確にする。加えて、児童の実態を踏まえ、軽重をつけた単元デザインと1時間あたりの授業づくりが必要となる。導入8分－展開27分－まとめ・振り返り5分が中目黒小学校の基本的な枠組みとなっている。

「マイプラン学習」…個別最適な学びの指導の個別化を保障するためにマイプラン学習という単元内自由進度学習を実践している。課題・問題設定（一斉指導）→児童の選択による追究活動（個別学習）→単元のまとめとしてのディスカッション・パフォーマンステスト（一斉指導）が基本的な流れとなっている。マイプラン学習を実現するために、学年団揃っての教材研究を徹底している。クラス、学年間に差が生じないように小学校全体で教師用マニュアルシートを作成し、活用している。

「マイタイムの時間」…40分午前5時間制により生み出すことのできた学校裁量の時間である。金曜日6時間目（第3学年以上）に年間25コマを設定している。マイタイムの時間には、「自学・自習タイム」と「フリースタイルプロジェクト（FSPJ）」の2種類の学習が展開される。「自学・自習タイム」は指導の個別化を目指すもので、学級・児童の実態に応じて教科や学習内容を選択する個別学習、補充学習である。定着不十分の学習内容の補修に使ったり、発展的な学習に取り組んだりしている。FSPJは学習の個性化をねらいとしている。児童が興味・関心に応じて自由に学習内容を設定して課題解決を行う。毎時間、振り返りと再計画を繰り返しながら進める課題解決学習である。学習のまとめで発表会を実施する。第3学年から第6学年まで同じ時間に活動することにより異学年児童による自然発生的な協働的な学びの場にもなっている。

「チームOJT」…令和2年度より、放課後の時間を教員の課題意識に基づく学びの場「チームOJT」として活用し、指導力の向上を図る。学年内の共通理解に加えて、学年の壁を超え職場の活性化や人材育成を目的としている。3～4人のチームを編成し、各チームに主任教諭以上の教員を配置する。チームごとに月1回（60分程度）テーマを設定して年間で追求する。年度末に成果の報告会を実施する。「マイプラン学習」単元内自由進度学習の授業研究では、授業とその指導案の協議以上に、単元のカリキュラム・マネジメントについての

	月	火	水	木	金
朝	MP				
1	1	6	13	18	25
2	2	マイプラン	10	16	26
3	3	8	15	20	27
4	4	9	16	21	28
5	5	10	17	22	29
6	OJT	11		23	MT
7		12		24	

資料 中目黒小学校 時間割

意見交換が主な協議内容となる。協議の視点は、「子どもが主語となるような授業展開かどうか、（どう学ばせるか、単元構成、環境整備・事前準備）」である。4月の月曜日、水曜日、金曜日の午後は授業を計画せず、OJTに時間を充てている。40分授業の単元デザイン、特に単元内自由進度学習（マイプラン学習）の計画・準備、そして初任者への指導・研修を充実させている。

中目黒小学校では、自律的に学ぶ児童の育成のため「マイプランとリフレクション」を重視している。「マイプラン」とは月曜日（週初めの初日）に週の予定や注意事項を教員が説明し、児童が予定や準備物、解決課題等を予定表に書き込み1週間の計画を立てる。「リフレクション」とは振り返りのことで、第3学年以上で給食終了後、帰りの会などの隙間の時間に短時間で実施している。その日の授業や生活、印象に残ったことを振り返ったり、週の目標や課題に対する進捗状況や反省を記録したりしている。「自分で計画を立てて勉強しているか」に「よくしている」と回答した児童割合は全国平均よりも13%多い。（令和5年度全国学力・学習状況調査）

4 感想

働き方改革を進めていく中で、業務（校務）量自体が削減されず、かつ労働者である教員が増員されない状況下において業務（校務）の効率向上、質的向上をカリキュラム・マネジメント（授業時間5分短縮）の工夫、改善から見出す方策は参考にするべきであると痛感した。授業時間5分短縮により、創出した時間をOJT・研修に充てることが有効な手段と考えることができる。特に中学校においては、放課後に部活動が計画されている。学年及び教科担当教員が授業準備、教材研究に充てる時間が勤務時間内に多く計画できない状況がある。勤務時間内に、教員が協働的な研修をすることによる授業改善は大きな効果が期待できる。育成したい資質・能力の明確化、単元デザインの工夫、教材解釈の深化に計画的に取り組むことで授業改善、授業力向上に努める必要がある。

個別最適な学びを保障するための「マイプラン学習」という単元内自由進度学習で、学力下位層に対して重点的に支援、指導をできるように教員間で共通理解を図る取組は下位層の学力向上につながるヒントがある。一斉指導でわかつたつもり・できたつもりでいる児童・生徒を顕在化させ、重点的にサポートするための準備をする。教員と下位層の児童との関わる機会・時間の増加により、一斉指導で得られなかった充実感や達成感が得られるようになり、学力の底上げに繋がったりしている。

加えて、「マイタイムの時間」（学校裁量の時間）で自学自習タイムを計画的に担保している取組は、児童・生徒の家庭環境が多様化、複雑化している現在において、基礎的・基本的な学力の定着を導く一助になると考えられる。ヤングケアラー、様々な虐待など家庭で学習する機会と時間が確保することが難しい児童・生徒にとって、授業で学習した内容を学校で復習、反復することは授業がわかる・できる実感に変わっていくはずである。学力の下位層は基礎的・基本的な学力の定着を、中間層は基礎的・基本的な学力が定着することを通してさらなる学習意欲の向上とその取組を、上位層はそれぞれの目標達成を実現する貴重な時間となる。ちなみに、中目黒小学校では、放課後の時間に中目寺子屋として算数の個別補充時間も別途設定している。

個別最適な学びの学習の個性化を保障するためのFSPJは児童が好きなテーマ設定で探究活動、研究を行っている。学習系、もの作り系、生活実践系、体育、運動系、芸術系と教科の枠に捉われない教科横断的な学びが実現できている。第3学年から第6学年まで同時間に活動することによって、協働的な学びの場にもなっている。

中目黒小学校の40分午前5時間制は、特例校として時数の設定ができています。時間の使い方は時間の創り方であることを手本にし、勤務時間内の研修、研究を重ねることで授業改善に努めることは全教員に求められていることであると再確認した。自身の授業改善のように着手できることには、ただちに取り組み、学校課題研究や初任者をはじめとする若手教員の研修計画改善等の教員間の連携や協力が必要なことには綿密な計画を準備して、学校全体で時間の有効活用と授業力向上に努めていきたい。